

～震災復興を願って～

ドイツ／ハレ大学室内合奏団と 共演する「メサイア」演奏会



2011.12.17 青年文化センター

2012年7月24日 火 18:00 開場 18:30 開演

仙台市若林区文化センターホール

入場料：一般 1,000 円 / 学生（高校生以下）500 円

Program プログラム

- 第1ステージ **ハレ大学アカデミー室内管弦楽団**
A ロゼッティ 交響曲ハ長調 RWV A8 ほか
- 第2ステージ **メサイアを歌う会・**
ハレ大学アカデミー室内管弦楽団
G F. ヘンデル オラトリオ「メサイア」より

主催／お問合せ：メサイアを歌う会 TEL/FAX 022-245-6567（伊達）

後援：宮城県 仙台市 公益財団法人宮城県文化振興財団 公益財団法人仙台市民文化事業団 **Ai** アート・インクルージョン実行委員会

河北新報社 **NHK** NHK 仙台放送局 宮城県合唱連盟

出演者プロフィール



指揮：マティアス・エルベン (Vn)
ソプラノ：プロイラー・ユリア
アルト：ボーゼ・アネット

ハレ大学アカデミー室内管弦楽団

中部ドイツに位置するハレはゲオルク・フリードリヒ・ヘンデルの生地としても有名だが、古くはマルティン・ルターも大学の神学部教授を務め、500年以上の歴史を持つハレ大学を有する都市として歴史上重要な役割を担ってきた。同大学にはヘンデルや日本人では新渡戸稲造も学生として在籍していた。ハレ大学オーケストラの歴史は18世紀までさかのぼり、ハレ・フリードリヒ大学のアカデミーコンサートでの演奏がその始まりで、ドイツの大学における特徴である音楽研究団体「コレギウム・ムジクム」に属する管弦楽団として1779年に発足致した。近年では、1991年のドイツ・オーケストラコンクールへの参加を皮切りにイタリア、フランス等欧州各地へ活動を広げ、2003年には同オーケストラの録音が「ドイツ中世・バロック音楽賞」を受賞した。06年にはハレ市建都1200年祭の一環として、カール・オルフの「カルミナブラーナ」など数々の演奏を行った。07年10月からはライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のコンサートマスターであるフランク・ミヒャエル・エルベン氏の指導のもと、08年1月、初めてゲバントハウス・コンサートホールでの演奏会開催に至った。現在の同オーケストラは、学生、教授、講師と卒業後音楽キャリアを積んだメンバー約100名で構成されており、ライブツィヒ、ドレスデン、ヴァッテンベルクやベルリンなど東ドイツの各地、およびポーランドで積極的な演奏活動を行っている。



メサイアを歌う会

「メサイアを歌う会」は一般公募によって組織されたヘンデルの「メサイア」演奏のための合唱団です。仙台在住の方だけでなく、他の市町村の方も、最近では外国の方も参加しています。1983(昭和58)年、50名で始めたこの演奏会も年々参加者が増え、昨年(「第29回メサイア演奏会」)は130余名がステージに上り、盛り上がりを見せました。ベートーヴェンの「第九演奏会」と並んで、仙台の年末には欠かせない音楽イベントになりました。08(平成20)年2月には、ヘンデル生誕の地、ドイツ・ハレ市で行われた「第9回ヘンデル・メサイア世界合唱祭」に参加しました。「第30回メサイア演奏会」を今年12月22日に開催する予定ですが、何よりも第1回以来、休むことなく続けられたことに団員一同自信を深めています。



工藤欣三郎

宮城県大崎市鳴子町生まれ。古川高校を経て東北大学教育学部音楽科卒業。作曲および指揮法を福井文彦氏、声楽を渋谷伝・藤井典明の諸氏に師事。東北学院大学ヒムネン・コールや仙台男声合唱団などを始め、在仙の有名合唱団の育成に尽力する。現在、仙台が誇る仙台ガブリエリ・プラスの顧問を務める傍ら、仙台の年末の催しとして定着した「メサイアを歌う会」の常任指揮者。「合唱団コール・ユーベル」女声合唱団の「こーる・すまいる」「コール・プリランテ」「合唱団コスモス」若林児童合唱団「虹」を指揮。NPO法人「ミュージズの夢」の副理事長など県内の音楽界において多岐にわたり、常に精力的に活躍を続けている。また2003年より、仙台市と山形市の交流を図る「仙山コーラス・ジャンボリー」を主宰し、毎年大成功を収めている。



中澤香織

宮城学院女子大学音楽科、同大学研究生修了。イタリア・カザルマッジョーレ市「サンタキアーラ国際アカデミー」に参加し、ディプロマを取得。イタリアにおいて、L. シッコマーニ、M. アウグスティエーニの各氏に発声法をD. モーリ女史にオペラ演奏法を学ぶ。これまでに「ラ・ボエーム」「トスカ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「トゥーランドット」「カルメン」などに出演。広い声域とソプラノ以外にも多くの役柄を歌えることから、「ソプラノ・ファルコン」と呼ばれる。現在、常盤木学園高等学校非常勤講師。コール・プルミエール、リール・コーラスの指導者としても活躍している。仙台オペラを楽しむ会代表。



関本 愛

宮城学院女子大学音楽科研究生修了。
2007年日演連推薦新人演奏会にて仙台フィルと共演。仙台オペラを楽しむ会主催「メサイア」でアルトソロ、「カルメン」でフランスキータ役など、オペラを中心とした演奏会に多数出演。現在、常盤木学園高校非常勤講師。



松尾英章

東北学院高等学校、桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科(3年)修了。2003年より約1年間ミラノに留学。2007年9月より地元仙台に拠点を移し「歌い継ごう昭和の歌声」、「メサイア」、「魔笛」、「戴冠ミサ」、「社の都コンサート」、「気軽にクラシック」などに出演。また、「思い出コンサート」、「いのちのことばコンサート」、「春の祭典 in 川内菰ホール」などを企画・出演。2011年4月より「がんばろう宮城! 大震災復興支援チャリティコンサート」のディレクターとして、80回を超えるのチャリティコンサートを企画。これまでに、斎藤みどり、佐藤桂子、木村俊光、牧川修一、エルネスト・パナリエット、ウーヴェ・ハイルマン各氏に師事。全日本学生音楽コンクール、多摩フレッシュコンクール、イタリア声楽コンクールに各入選。第1回日本チャイコフスキーコンクール青少年の部第2位。第1回ベルカント・テノーレ・コンクール第3位。現在、常盤木学園非常勤講師、仙台中央音楽センター講師、仙台北バプテスト教会音楽委員長。ジュニアコーラス・Raw-Ore、西多賀中学校合唱愛好会、仙台ロシア合唱団ボイストレーナー。歌唱サークルるんが・び〜た指揮者。